



12月（師走）になりました。本格的な冬の始まりです。

寒気と乾燥とともにやってくるのはインフルエンザや

感染性胃腸炎などのウィルスです。

体調管理の基本は【早寝・早起き・朝ごはん】プラス歯磨きです！



◆子どもの人権（ユニセフでは18歳以下と規定）

- 1、 生きる権利—すべてのいのちの尊さ
- 2、 育つ権利 —健やかな成長のための医療や教育・生活全般の支援を受けることができる
- 3、 守られる権利—暴力や搾取、有害な労働などが強いられることのないよう、守られている
- 4、 参加する権利—自由に意見を表したり、同じ意見の人と団体を作ったりすることができる

18歳以下の子どもは、親の人種、住んでいる地域、性別、意見、障がいの有無、経済状況など、すべてにおいて差別されることがないように、そして安心して生活できるように、

大人が守らないといけないと決まっています。みなさん、一人ひとりは、大丈夫ですか？きちんと守られていますか？

何か困ったことはありませんか？また、みなさん同士の中でも、悪口を言ったり、人をバカにするような行動や言動はないですか？遊びが「あ・そ・び」ではなく、人を傷つけることになっていませんか？

みなさんが「安心」して学校生活を送ることができるように、特活・総合の時間をはじめ、各教科などで様々な学習をしています。みなさん一人ひとりが、他人事としてではなく、自分の

こととしてとらえてくださいね。住一のみなさんには、人を思いやる心も、人を助ける力も備わっていると信じています。



みんな違う だからいい



12月（師走）は年の瀬、いつもより外出する機会が増えたり、いつもより多くのお金を持ち歩くことがあるかもしれません。12月22日冬至の日が1年で一番、日照時間が短いと言われています。暗くなるのが早い、ということです。今でも十分、暗くなるのが早いです。明るい時間よりも、暗い時間の方が事件や事故に巻き込まれる確率はあがります。いずれにせよ、自分の行動にきちんと自覚と注意をもって行動しましょう。



◆12月1日は世界エイズデー

ウィルスの名前：HIV

病気の名前：AIDS→日本語：後天性免疫不全症候群

【感染源】：主に血液（精液・膣分泌液などの体液）

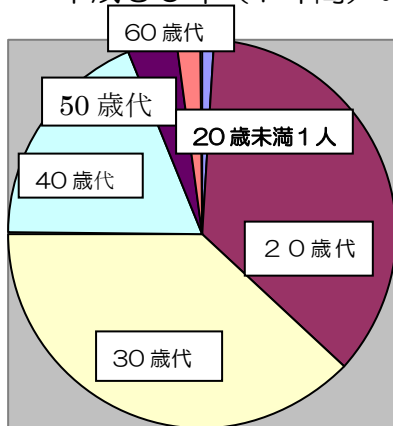
◇平成30年まで 大阪市が公表している人数

HIV 感染者数：2243人 1年間 95人

AIDS 患者数：584人 28人

◇平成30年（1年間）大阪市 HIV 感染者報告数 95人（下の円グラフ）

平成30年（1年間）の20歳未満の感染者は1人。昨年は0人



20歳代 34人、30歳代 36人

◆この病気のポイント◆

- ・HIV（ウィルス）に感染しても、すぐに AIDS 患者になるわけではありません。
- ・HIV（ウィルス）に感染しているかどうかは、血液検査を受けないとわかりません。

◆令和元年「世界エイズデー」のキャンペーンテーマ
『UPDATE!』話そう、HIV/エイズのとなりで
～検査・治療・支援～



治療法の進歩によって、HIV に感染しても感染していない人と同等の生活が可能となっています。治療の継続（服薬など）で、人への感染のリスクも大きく減少します。けれど、現状を知らないために、検査を受けずに、エイズを発症してしまう人がいます。医療は日々、進歩しています。正しい知識を話し合えればいいですね。

◆ みなさんに伝えたいこと ◆

- ①病気の存在を知ること、そして、日々、医療は進歩している、ということ。
 - ②人の血液中にウィルスが存在します。事故やケガの手当てなどで、他の人の血液にさわった場合は、必ず、医療機関に相談してください。
 - ③本人でさえ（血液検査をしなければ感染しているかどうかわかりません）HIV を持っているかどうかわからないことがあります。
- ★ 一人ひとりの行動が感染するか、しないか、大きく影響します。